

令和8年(2026年)1月18日 (日曜日)

県景観賞

境川・清住緑地が最高賞

三島市 自然・生態生かす整備評価

三島市の「境川・清住緑地」が第18回静岡県景観賞の最優秀賞(県知事賞)に輝いた。地域固有の自然や生態を生かした景観復元などの、施策などが高く評価された。

三島市と清水町の境を流れる境川沿いに整備された「境川・清住緑地」は、官民共同で

再生したビオトープ公園。富士山のもたらし湧水、貴重な植生を残し、2020年に完成した。「ふるさとの原風景」が残る貴重な自然環境、水辺景観が守られ、多くの市民や観光客が訪れる。整備に係る市、NPO法人グラウンドワーク(GW)三島、

境川・清住緑地愛護会、加和大建設、静岡コンサルタントの合同受賞。景観施策のほか、GW三島が主導する住民参加型の整備や維持管理、人材育成、教育プログラムの実践など、景観に関するソフト事業も評価された。申請者であるGW三島の渡辺豊博専務は「地域の人たちに優れた自然環境、水を宝物として大切にしていきたいと思います」と話した。



最優秀賞に輝いた「境川・清住緑地」
三島市内(提供写真)